



今年見つけた一番大きな骨。竜脚類という恐竜の後ろ足のすねの骨(けい骨)です。岡山理科大学・モンゴル共同調査隊提供

「どれくらいこの深さまで掘って、たら骨が出てくるの？」
「せいせいー骨」
「なあーんだ？」
「深く掘ったら出てくるわーってことではないよ。骨が出てこない地層のところはいくら深く掘っても出てこないし、出てくるころでは地上に骨の化石が顔を出してやるよ」
「と、いっわけでゴビ砂漠では、まず化石のある所へ行っって地表に出ている骨を見つけ、じわじわと掘り下げていきます。1層とはいえ、炎天下の砂漠で地面を1層掘り下げることは大変なことなんです。特に大きな恐竜の場合は大土木工事。大き

周りの地層ごと持ち帰る



共同調査隊提供

骨の化石の入った地層を丸ごと石ころで固めたかたまりを取り出しているところ。みんなで力を合わせます。岡山理科大学・モンゴル共同調査隊提供

てなわけで、恐竜発掘現場で一番多い病気が「腰痛」。あー腰が痛い。

すきてその年だけでは掘り出せないことだってよくあります。そんな時は「また来年来て掘り出そう」と決め、埋め戻します。ああもったいない。こんなに掘ったのに…なんて思いま



恐竜発掘に向かう調査隊員。シャベルを肩に、小さな発掘道具は腰の周りに。林原一モンゴル共同調査隊提供

恐竜調査隊が行く

岡山理科大学教授・石垣恵

現場で一番多い病気は「腰痛」



豆知識

竜脚類 首としっぽが長くて体の大きな植物食恐竜です。長さは10mから30m。後ろ姿はこんなところですね。

